

R5 年度学校評価（保護者）集計結果

令和5年度学校評価(保護者)集計

令和5年11月実施
都留市立立谷村第一小学校

A: そう思う B: どちらとも言えない C: そう思わない

評価項目	No.	具体的な評価内容	今年度 集計(人/％表示)			昨年度			A増減			
			A	B	C	A	B	C				
1 学校教育 目標	①	谷一小は、学校教育目標を地域や保護者にわかりやすく説明している。	135	63	4	66.8	31.2	2.0	65.8	31.7	2.5	1.0
	②	谷一小は、学校教育目標を達成させるために、様々な学習活動や取り組みを行っている。	136	41	3	75.6	22.8	1.7	72.4	26.1	1.5	3.2
2 学校経営 と組織	③	谷一小は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている。	144	31	5	80.0	17.2	2.8	81.4	16.1	2.5	-1.4
	④	谷一小では、学校・地域・家庭が協力して、児童の健全育成や安全のために努力している。	132	45	3	73.3	25.0	1.7	70.2	26.3	3.5	3.1
3 学習指導 と生徒指 導	⑤	谷一小は、児童にとって、分かりやすい授業を行っている。	123	51	6	68.3	28.3	3.3	70.1	27.4	2.5	-1.7
	⑥	谷一小は、一人ひとりを大切にし、いじめのない学校づくりにとりくんでいる。	113	55	12	62.8	30.6	6.7	66.7	29.3	4.0	-3.9
4 地域社会 と連携	⑦	谷一小は、地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っている。	113	60	7	62.8	33.3	3.9	52.6	44.9	2.6	10.2
	⑧	谷一小では、地域や保護者が学校の教育活動に協力している。	114	62	4	63.3	34.4	2.2	55.8	40.2	4.0	7.6
5 学校の特 色	⑨	谷一小は、ノーチャームを活用するなど、児童に自主的な態度が身につくような指導を工夫し	140	37	3	77.8	20.6	1.7	74.6	21.8	3.6	3.2
	⑩	谷一小は、ボランティア活動・福祉講話など福祉教育の実践をしている。	98	77	5	54.4	42.8	2.8	48.5	44.4	7.1	6.0

《好ましい状況として》 評価の高い項目（A 評価の数値から）

②谷一小は、学校教育目標を達成させるために、様々な学習活動や取り組みを行っている。
(75.6%)

(参考)

谷一小の学校教育目標

「生きる力」を育み、未来に生きる児童の育成

具体目標

- や さしく思いやりのある子ども
- い き生きと主体的に学ぶ子ども
- ち から一杯運動し丈夫な体をつくる子ども
- の びのびと自分らしい生き方について考える子ども
- こ ころ広く集団の中で仲良く助け合える子ども

本校では学校教育目標の達成に向けて、教育課程を編成して実施してきました。本年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことにより、コロナ禍以前の取組を参考にしながら、子どもたちにとって必要な力を教育活動全体で身に付けるよう努めてきました。今後も、学校評価アンケートによる保護者・地域の皆様のご意見を参考にさせていただきながら、教育目標、教育課程及び指導計画の改善、向上に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

③谷一小は、児童にとって安心して過ごしやすい場所になっている。(80.0%)

学校は、子どもたちの安全・安心を保證できるように努めております。子ども一人一人が、安心して過ごすことができ、居場所があることは、学校教育においてとても大切なことです。これらの項目で高評価をいただいたことは、信頼される学校づくりに向けた取組の成果であると考えております。今後も子どもたちが安心して学校生活を送り、保護者や地域からも信頼される学校づくりに向け、学校全体で取り組んでいきます。

⑨谷一小は、ノーチャイムを活用するなど、児童に自主的な態度が身につくような指導を工夫している。(77.8%)

自ら判断し行動することで、見通しをもって学校生活を過ごす子どもを育成するため、今年度もノーチャイムを実施しております。保護者から、昨年度よりも高評価をいただいております。この取組が保護者の皆様にも理解されていると考えております。自分で考えて主体的に行動したり学習したりすることは、これからの時代を生きる子どもたちに身に付けさせたい力です。今後も、学校全体で児童に自主的な態度が身につくよう努めていきます。

《改善すべき課題として》 評価の低い項目（A評価の数値から）

⑤谷一小は、児童にとって、分かりやすい授業を行っている。(68.2%)

⑥谷一小は、一人ひとりを大切にし、いじめのないが学校づくりにとりくんでいる。
(62.8%)

⑤について

「楽しい授業、分かりやすい授業」は学校教育の根幹をなすものです。谷一小の教職員は、子どもたちにとって「授業が楽しく、わかると感じられるような授業づくり」はどうあるべきか、授業研究を通して改善を図り、基礎学力の定着と思考力、判断力、表現力を伸ばすための授業づくりに取り組んできました。特に、今年度は、校内研究でICTを活用し「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を行い、成果が表れています。また、教員が授業を見せ合うことで、授業力の向上を目指しています。しかし、教職員が行っていることが、児童に反映されることが大切です。継続は力なり。今後も引き続き、子どもたちにとって「分かりやすい授業、楽しい授業」をめざして全教職員で取り組んでいきます。

⑥について

子どもたちにとって、「安心・安全」に学校生活を送るためには、いじめのない学校づくりに努めなければなりません。今年度も谷一小では、「自分のことも友だちのことも大切にすること」を基本に教育活動を進めています。生活アンケートを実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めたり、「いじめ」が認知された場合は、子どもの話をよく聞き、全教職員が連携し、解決に向けて取り組んだりしています。今後も、子どもの話をよく聞き、保護者の皆様とも連携しながら、全校体制で「いじめ」の未然防止と早期発見・対応に努め、「安心・安全」な学校づくりに取り組んでいきます。

⑦谷一小は、地域や保護者の声を反映するための取り組みを行っている。(62.8%)

⑧谷一小では、地域や保護者が学校の教育活動に協力している。(63.3%)

⑦⑧地域や保護者との連携

よりよい学校教育を進めていくためには、家庭・地域に学校の教育活動に対して理解していただき、その上で、連携・協働していく必要があります。そのためには、学校の教育活動を知らせたり、地域や保護者の声を教育活動に反映したりする必要があります。学校の教育活動については、学校だより、ホームページ、学年だより等で学校の教育活動について、地域や保護者に向けて発信しています。また、アンケートを含め、保護者や地域の声も聞き、学校の教育活動に活かすようにしています。学校だけでは、解決できない課題も多くある中、今後も、地域や保護者と、連携・協働しながら、子どもたちの教育活動を進めていきます。

⑩谷一小は、ボランティア活動・福祉講話など福祉教育の実践をしている。(54.4%)

⑩福祉教育について

ボランティア活動として、児童会を中心に歳末助け合い運動や海外に米を送る活動などに協力しています。年少者も高齢者も、障がいのある人もない人も、国籍や言葉の異なる人も、すべての人々が社会の中で、誇りをもち、心豊かで幸せな生活を送ることができるようにすることを、福祉教育ではめざしています。そのために、学校が地域社会と連携しながら、子どもたちが互いに人間的に成長しあえるような福祉教育を進めていくことが重要です。今後も、道徳教育や人権教育、日常の学級経営の中で、ボランティアや福祉の心を育む取組を継続的に行っていきます。

ご意見に対して

教員の資質・能力の向上、児童の登下校、教育活動等について、様々なご意見をいただきました。学校として、また、一人一人の教職員が真摯に皆様のお考えや思いを受け止め、学校教育活動の改善と向上に努めてまいりますので、今後ご理解とご協力をお願いします。

《総括》

◎本校教育活動に対し、皆様から頂いた評価、ご意見を真摯に受け止め、ご支持・ご理解いただいている面につきましては、今後もより充実、発展できるように努めます。改善、見直し等のご示唆につきましては、ご意見を踏まえて自ら振り返り、全教職員が一丸となって、組織的に改善、実施していくようにいたします。

◎未来を生きる子どもたちが、自分らしさを輝かせながら、多様な他者と協働して豊かな人生を送ることができるよう、生きる力を身に付け伸ばし、個々の資質・能力を育むためには、家庭と学校、地域全体で子どもを支え励まし続けていくことが必要です。これからも、ともに連携し、協働しながら、谷村第一小学校の児童を育成していきたいと考えております。皆様のご理解をお願いいたします。